



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



2021年 3月18日朝刊中部版

記事を読んで、問いに答えなさい。
解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

①文化財保護法による重要無形民俗文化財指定の意味を考察せよ。

②重要無形民俗文化財は2021年3月11日現在、全国で323件、静岡県で9件が指定されている。自分の郷土の重要無形民俗文化財をしらべ、民俗学的意義を考察せよ。

③焼津市のホームページによると、「藤守の田遊び」は「今から千年以上前の寛和年間に、大井川の治水と一年の豊作を祈願して行われたことが起源」とある。また、静岡新聞2019/12/27の記事によると、「3市1町に地下水を採取する井戸が約千本あり、流域の人々の生活、生業を支えている」とされる。リニア中央新幹線工事により、大井川の水量が減少した場合、流域の人々の生活にはどのような影響が考えられるか。産業・経済・文化などの面から考察せよ。

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 実石克巳(静岡高校 教諭)

(高校/国語)

<参考>①=法学、民俗学、文化財学に関する問題 ②=民俗学、文化財学、地方行政学に関する問題 ③=地域行政学、経済学、文化学、交通学、土木建築学に関する問題

焼津「藤守の田遊び」

大井川の治水と1年の豊作を願う国指定重要無形民俗文化財の神事「藤守の田遊び」が17日夜、焼津市藤守の大井八幡宮で奉納された。昨年に続き、規模を縮小しての実施となったが、住民が例年同様に賑かな舞を披露し、伝統をつないだ。

神事は稲作の開墾から田植え、刈り取りまでの様子表現する25番の演目と、舞台を鎮める「番外」で構成する。今年「御獅子」や「田植」など代表的な8演目と番外「天狗」のみ演じた。伝統に従い、未婚の氏子男性6人が色彩豊かな衣装を身に付け、笛や太鼓の音色に合わせて舞い踊った。

平安時代に始まったとされ、毎年3月17日に奉納している。例年500人ほどの見学者が集まるが、新型コロナウイルス感染症防止対策として2年連続で来場見合わせを呼び掛けた。

(焼津支局・尾原素也)

伝統つなぐ舞 豊作願う



3番演目「御獅子」を演じる氏子男性=17日午後、焼津市の大井八幡宮